

# 風風二郎一可

ふうふう

FUFU  
NEWS

Vol. 238  
2018 August

## 黒こま坦々つけ麺

キレのある辛さと、風味豊かなゴマの香り。

辛さの中にもスッキリとした食べやすさを感じられます。食材の旨みが引き立つつけ汁に、のど越しのよい麺を絡めて、豪快にお召し上がりください。

(八月末までの期間限定です)



ふうふうラーメン  
**風風ラーメン**

### 【社長コ一ナ】

#### 実行について

皆さん、こんにちは！夏真っ盛りとなりました。毎日暑い日が続きますが、暑さに負けず元気に過ごしましょう！

さて、先月まで目的意識について話をしましたが、今回は実行に関する話をします。仕事とは、高いところに設定された目的・目標と、現状との差

(ギャップ)を埋めることです。人間の体調や気分のように、お店にも良いとき、うまく行かないときがあります。調子の良いときは何をやっても(やらなくても)うまくいきますが、調子の悪いときには何をやっても結果につながりにくいです。

ただ、先人が残してくれた言葉の中には、ヒントになるものが多くあります。「ピンチはチャンス」、「調子の良いときほど、大きな落とし穴が口を開けて待っている」、「苦境に陥ったときこそ、新商品開発・新市場開拓のチャンス」、「上り調子のときこそ、気を引き締めて更なる一手を打っていく」等々。

皆さん自身は今ピンチでしょうか？チャンスでしょうか？ こんなご時勢なので、絶好調という方は少ないのではないかと思います。人材採用・教育、店舗の運営レベルひとつとっても十分満足できないかもしれません。どうしてそういう状況に陥ってしまったので

対策方法や、予防方法が見つかります。ある日突然現状に陥ることはあります。必ずその前兆があつたはずです。それを見過ごした結果が現在の苦境になり、そのヒントをしつかり掴んで生かした結果が現在の好調につながるのであります。ちなみに、そういう前兆のことを、経営の神さまと呼ばれたドランカーは「過ぎ去った未来」と言いました。

その前兆を生かすには、日々を真剣に一生懸命に生きていこうことです。リズム食品では、よく「当たり前のことを当たり前以上にやる」という言葉が出てきます。QSC + 創意工夫についても、最低限のレベルをどれだけクリアできているでしょうか？ 飲食店の基本すら満足にできていなければ、結果はおのずから見えています。

完璧な人はいませんが、誰でも、他の人が真似できないような長所を持つてあります。個人としては、その長所の裏にある短所にこだわるのではなく、長所を伸ばすほうが周りに対して大きな貢献を与えられます。お店や会社は、個人ではなくチームです。メンバーの長所を出し合うことで、より完璧に近いチーム運営ができるようになり、その結果としてお客様の喜び作りができるのです。

(岡本 慶太)

## 6月21・22日 風風ラーメン下曽根店 20周年祭



テーマを『誠心誠意』としキャストさん一人ひとりが周年祭前から、装飾、研修、大掃除と積極的に取り組んでくれ、2日間とも天候にも恵まれ、よいスタートがきれました。当日の営業の中では上手くいかないこともたくさんありましたが、一生懸命動いてくれてとても助かりました。周年祭の中でお店全体の課題、キャストさん一人ひとりの課題も気付くことができ



ましたので、その課題をそれぞれが意識し、また来たいと思っていただけるお店を目指し、皆で協力し日々がんばっていきます。2日間たくさんの方に激励に来ていただき感謝しています。ありがとうございました。

(風風ラーメン下曽根店 店長 藤本 明子)

## 風風ラーメンひばりヶ丘店 13周年祭

今回のテーマは「13年めのサクセスストーリー」で、新たな常連さま創ることを目的としました。昨年に続き店頭でのカウントダウンPOPでお客さまにアピール!直前のミニNHKK研修では、キャストさんとともに、想いを共有することができました。今回の周年祭では①ラーメン500円、②チラシにチケットをつけず、ご来店いただいたお客様にチケットを配布、③アンケートを実施、の3点を新たな試みとして行ないました。特に良かったのはお客様からの声をアンケートを通じて聞けたことです。100枚近いアンケートをいただき、満足度も非常に高かったです。キャストさんがとても良い表情で営業できたことが満足度につながったと思います。周年祭後もご来店いただいたお客様を大事にして、右肩上がりになるよう盛り上げて行きます!

(風風ラーメンひばりヶ丘店 店長 高井 唯)



# 6月6日長崎決起大会&BBQ



かつや



factory-s



小菅店



大田店



東長崎店



京泊店



風風ラーメン



浜口店



佐世保店



全員集合!

リズム食品決起大会を長崎にて実施し、その日はお店の営業をお休みし、キャストさんにも参加してもらい、各店の今年のテーマ・取組み発表、社員から岡本社長に誓いの言葉(血判状)を渡すなど、熱い決起大会となりました。続いてBBQ大会では、『コミュニケーションと皆の気持ちをひとつに』を目的とし大変盛り上がりました。また、感謝を伝えたい人たちへ、感謝状や

各賞を贈り、驚きや喜びの中、笑いあり、涙ありのすばらしい時間となりました。キャストさんの笑顔、ともに働く仲間のやる気アップ、これこそが明日に繋がる力です。心をひとつに、皆で盛り上げていきましょう!注)毎年BBQは雨に見舞われますが、来年こそは必ず気合で晴天にしてみせます。

(FCサポート本部 マネージャー 石川 聰)

## 新入社員紹介

7月から社員として勤めさせていただくことになりました。会社の一員として、より責任感を持って自分の仕事に向き合っていきます。また自分から胸を張って一人前だといえるように、日々着実にしつかり前に進みたいと思います。まだミスも多いですが、持ち前の胆力でへこたれずがんばります!

Factory-s 岩野 会さん



## 経営コンサルの独り言 Vol.149

〈紙上セミナー〉

# 刺さる言葉

皆さまこんにちは♪いよいよ夏本番!思い出づくりも仕事のうちです。充実した日々を意識しましょう。さて、一流といわれる店舗はどのようなものかとよく尋ねられます。私は決まってこのように返答します。『言わなくてもやるのが一流。言わなくてはやらないのが二流。言ってもやらないのが三流。』自店舗は何流ですか?たとえ一流でもそれを維持するのは労力が掛かります。キャストさんの誰しもが、誰から何も言わなくても自発能動的に動き、その状態を維持することが存続発展のポイントです。さて今回は、刺さる言葉を集めましたので、いっしょに吟味していきましょう♪

◆人は、自分が幸福であることを知らないから、不幸なのである

ロシアの文豪、フョードル・ドストエフスキイの言葉です。賭博癖と浪費癖のあったドストエフスキイは、お金が入るとすべて賭けごとで使い果たし、常に借金を抱えていたといいます。その代表作『罪と罰』は、借錢で首が回らなくなつて落ちるところまで落ちたときに生まれた作品という話は有名な話のようです。となると、実は迷い悩むときこそが進歩しているときなのかもしれませんね。

◆やってみせ、言って聞かせて、させてみせ、ほめてやらねば人は動かじ

連合艦隊司令長官、山本五十六の言葉。その後、完全に国民を掌握したフレーズです。いくら口では立派なことを言っていても、そこに行動が伴っていなければ、部下は全く聞く耳は持たないし、部下から尊敬もされないという意味だと高校時代に習いましたが、当時私は教師に対し、『先生、これって異性の間でも使えるフレーズですね♪』と言ったら、笑いながら叱られました。

◆夢は逃げない。逃げるのは、いつも自分自身だ

抽象画の石郷岡敬佳の言葉です。完全独学だった石郷岡敬佳は一躍人気画家となって、フランスの古城を購入してアトリエにしたという豪傑な方だったようです。事実、人生は夢しか実現しませんから、夢を笑うものは運に見放されるような気がします。

◆知恵を作れ、知識ではない!。知識は過去。知恵は未来だ!

アメリカ大陸の先住民族=インディアンのことば。現代ではなくネイティブ・アメリカンと呼ばれているそうです。彼らが言い伝えているフレーズは多く、その言葉のひとつがこれで、彼らのフレーズの中で特に好きなものです。

◆人には失敗する権利がある。だがしかし、それには反省と言う義務が付く。

ホンダ技研工業の本田宗一郎さんのフレーズ。彼は、多く

の言葉を遺しています。“やるだけやってできなかつたら、もっとやれ!”と社内で吠えまくっていたと言いますが、そこに通底しているスピリットは『停滞を恐れる』ということだと現在の社内で解釈されているそうです。

◆心は気を率い、気は血を率い、血は身体を率いる

明治時代の文豪、幸田露伴の言葉です。『当たり前のこと当たり前に、そして小さな努力を重ねることによってはじめて良い人生になるのはもっともな話。ただ努力の仕方が問題なのだ!』と露伴はその著書である努力論の中で、努力の仕方を具体的に唱えています。

◆努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る

戦後の文壇をリードした井上靖先生の言葉です。同氏の中で最も好きなフレーズで、一般によく使われていますが、意外と同氏の言葉であることは知られていません。中島敦の、“人生は何ごともなさぬにはあまりにも長いが、何ごとかをなすにはあまりにも短い”というフレーズも好きです。

◆大事の義は、人に談合せず、一心に究めたるがよし

江戸時代の立役者と言われ、日本の歴史を変えた戦国武将伊達政宗公。大切なことは他人に相談せず、ひとりで必死に考え抜いた方がよい。そうすることで責任と自信がすべて自分のものになり、覚悟をもってことに当たることができる。そして仮に失敗しても、そこには後悔がない。これは、トップマネジメントとしての在り方ではないかと思います。

◆人は、変えられるのは未来だけと勝手に思い込んでいる。

しかし実際は、未来は常に過去を変えているんです。変えられるとも言えるし、変わってしまうとも言えますが。

平野啓一郎の『マチネの終わりに』の序盤で書かれていたフレーズです。結果がよければ全てが肯定されるもの。いちばん最後に笑いましょう。と私は判読しています。

◆幸福とは、報酬など全然求めていなかった者のところに突然やってくる報酬である

世界三大幸福論のひとつと称されるのがアランの『幸福論』から、その中の第87「克服」の章に書かれているフレーズです。和訳本が出ています。めちゃくちゃ分かりやすいです。

最後にワンフレーズ “比べることをやめると、疲れなくなるよ♪”(清野秀道1965年～)

(株式会社システムコンストラクション 清野 秀道)

### [お知らせ]

毎月発行を続けてまいりました、風風にゅーすですが、今月号をもちまして、一旦お休みさせていただきます。来年1月より、春夏秋冬、年4回の発行に変更することになりました。長きにわたり読み続けてくださった読者の皆さんには、感謝の気持ちでいっぱいです。リニューアルし、また皆さんに明るさ元気をお届けできるよう、準備してまいります。 風風にゅーす編集部

### [発行] リズム食品株式会社

〒802-0081  
北九州市小倉北区紺屋町13番1号 每日西部会館7F  
TEL.093-531-1120 FAX.093-533-0122  
E-mail : news@rhythm-food.co.jp